

15. 小学校・福祉施設への朗読の宅配

グループ名 お話宅配便「すきっぷ」
代表者 水谷 りゑ

①活動の目的

地域の小学校、福祉施設に出向き、朗読の宅配を行うことにより、想像の世界を広げ、本の魅力を感じていただく。

学校では、「読書の習慣化」の一助としていただいている。おじいさんやおばあさんにあたるような元気な高齢者からの朗読は、世代間交流にも役立っているようである。

ご老人を主とした福祉施設では、地元の民話や昔話が対話の素材として楽しんでいただいている。

②活動概要

お話宅配便「すきっぷ」は、桑名市中央図書館で、目の不自由な方に対面音訳を実施しているボランティアが、これまで培ってきた朗読のスキルを活かして、桑名市内の小学校、福祉施設に出かけ、朗読の楽しさを味わっていただけたらとの思いから、平成22年4月に、25名の有志にて立ち上げたボランティア団体である。

現在、会員は23名（40才代・1名、50才代・3名、60才代・15名、70才代4名）、男性・2名、女性・21名の元気なグループである。

活動は訪問先の要望を受けて先方に出向き、童話、民話、昔話、エッセー等の朗読を行うものである。

助成対象の平成24年11月～平成25年10月の宅配便実績は、次のとおりである。

この間、貴事業団からの助成により、訪問先への往復交通費補助として、1回あたり300円を支給でき、活動をご支援いただいた。

a. 訪問先	19 施設
b. 延訪問回数	161 回
c. 派遣者	21 名
d. 延派遣者数	437 名
e. 朗読会参加者	7,003 名
f. 朗読作品	80 作品

ちなみに、訪問先の内訳は、次のとおりである。

a. 小学校	5校 (36クラス)
b. 老人福祉施設	5施設
c. 宅老所	7ヶ所
d. 学童保育施設	2ヶ所

これらの活動を支える基盤として、毎月1回、セミナーを開催、メンバーの朗読スキルの向上をはかるとともに、宅配便活動実施の都度「活動報告書」を提出、その後の活動のレベルアップに役立てている。

また、メンバーの相互啓発および広報を目的に、毎年1回「朗読発表会」を開催している。今年度は、第3回発表会を、平成25年3月23日(土)13:30～16:30、桑名市民会館にて開催、約250名の方にご参加いただいた。

<活動の様子>

小学校にて



練習風景



老人福祉施設にて



宅老所にて



③収支報告

収入		支出	
大同生命厚生事業団からの助成金	100,000	朗読派遣者への交通費補助 @300×371名	111,300
会費から充当	11,300		
計	111,300	計	111,300

<使途明細>

対象月	派遣者延人数	対象月	派遣者延人数
平成 24 年 11 月	56	平成 25 年 05 月	37
12 月	34	06 月	33
平成 25 年 01 月	43	07 月	<49>
02 月	41	08 月	<17>
03 月	34	09 月	45
04 月	19	10 月	29
		計	371

注：7月・8月については他団体の助成金にて対応。

今後の課題としては、派遣先とのコミュニケーションを一層充実し、メンバーの朗読スキルのさらなる向上につとめ、より魅力のある朗読派遣グループとして成長、微力ながらも、地域社会の文化レベル向上に貢献していきたいと考えている。

以 上